

ステアリングリモコン対応キット
(ダイレクト接続 - プラグタイプ)
トヨタ・ダイハツ・マツダ
スズキ・日産車用

取り付け解説書

— 対応ナビ・オーディオ製品 —

- パイオニア（カロッツェリア）社製カーナビ／カーオーディオ
※ステアリングコントロール入力端子付きモデル

- アルパイン社製カーナビ／カーオーディオ
※ステアリングコントロール入力端子付きモデル

- クラリオン社製カーオーディオ
※ステアリングコントロール入力端子付きモデル

- ケンウッド社製カーオーディオ
※ステアリングコントロール入力配線付きモデル



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

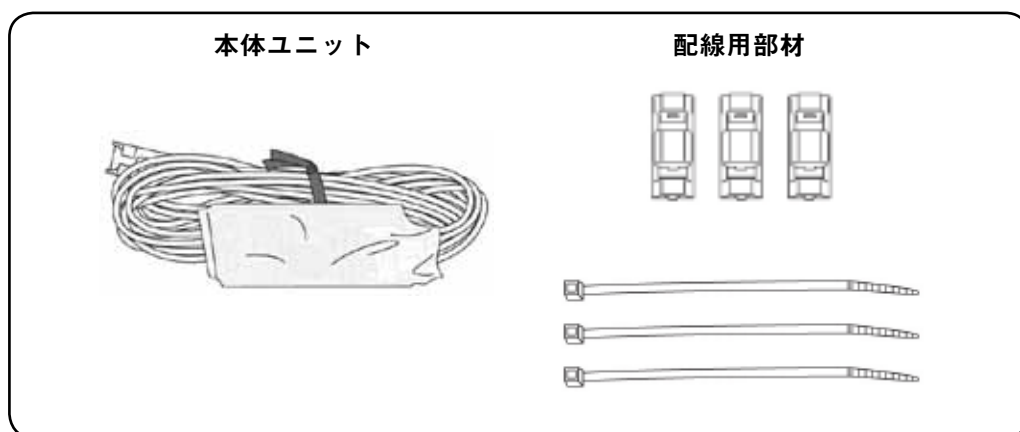
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ・カーオーディオ	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
トヨタ / ダイハツ 20 極コネクタピン配置図	7
トヨタ / ダイハツ 5 極コネクタピン配置図	8
トヨタ 28 極コネクタピン配置図	9
トヨタ 26 極コネクタピン配置図	10
トヨタ補助アンプ搭載車での配線変更方法	11
マツダ 24 極コネクタピン配置図	12
マツダ車へ接続する場合の一部ハーネスの加工方法	13
スズキ 20 極コネクタピン配置図	14
スズキ 24 極コネクタピン配置図	15
日産 E51 系エルグランド (2002.5 ~ 2007.10) コネクタ図	16
日産 T31 系プレサージュのコネクタ図	17
日産 20 極コネクタピン配置図	18
カーナビ・カーオーディオへの接続	19
カーナビ・カーオーディオメーカーの設定を行う	20
出力を「パイオニア」に設定する手順	21
本体 LED の点滅について	22
トラブルシューティング	23

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 本体ユニット | 1 台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1 部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1 部 |
| 4. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは7本の配線が出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）ですので、添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V アクセサリー電源 |
| 茶 / 白 | (+) ステアリングスイッチ入力1 |
| 茶 / 黄 | (+) ステアリングスイッチ入力2（未使用の場合があります） |
| 茶 / 黒 | (-) ステアリングスイッチ GND 出力 |
| 水 | (-) ケンウッド製品用コントロール出力 |
| 太黒 | (-) コントロール出力。先端はプラグになっています。 |

動作について

◇本ユニットを取り付けると、ステアリングスイッチでカーナビを安全に操作できるようになります。

MEMO

■車種とカーナビ・カーオーディオの組み合わせにより、ステアリングスイッチの全ボタンが使用できない場合がありますが、正常です。

取り付けできる車両、カーナビ・カーオーディオ

■ステアリングスイッチ付きのトヨタ・ダイハツ・マツダ・スズキ・日産車で、**ステアリングスイッチに他の機器の配線が接続されていない事**

※後付けでスイッチを取り付けた場合は、一部車種を除いて対応不可です。

※対応できない車種もありますので、適合表で確認してください。

■カーナビ・カーオーディオがパイオニア（カロツェリア）、アルパイン、クラリオン、ケンウッド社製品で、ステアリングスイッチコントロール入力がある機種。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

本品はカー AV システム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付け方法

ユニットの配線のうち「茶/黒、茶/白、茶/黄、赤、黒」（茶/黄は車種により使用しない場合があります）を車両へ接続し、水色線又はミニプラグをカーナビ・カーオーディオへ接続します。

※車種により接続先コネクタの位置は異なりますが、ほとんどの場合はカーナビ・カーオーディオ裏まで来ている純正配線に接続します。

※機種により、ステアリングスイッチの表示と実際に動作する機能が異なります。

※すべてのステアリングスイッチが使用できない機種の組み合わせがあります。

1. カーナビ／カーオーディオを取り外す

カーナビ・カーオーディオを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

2. 車両側配線を接続する

本ユニットの配線を接続します。車両メーカーや車種・グレードにより異なりますので、次ページ以降を参照して適切に接続を行ってください。

3. カーナビ・カーオーディオのコントロールジャックへプラグを差し込む

カーナビ・カーオーディオのステアリングスイッチコントロール入力に、本製品のプラグを差し込みます。

※ケンウッド社製品は、プラグを使用せず、本ユニットの水色線をカーオーディオのステアリングスイッチコントロール入力線に接続します。

4. 設定を行う

設定方法ページを参照の上、設定作業を行ってください。

MEMO

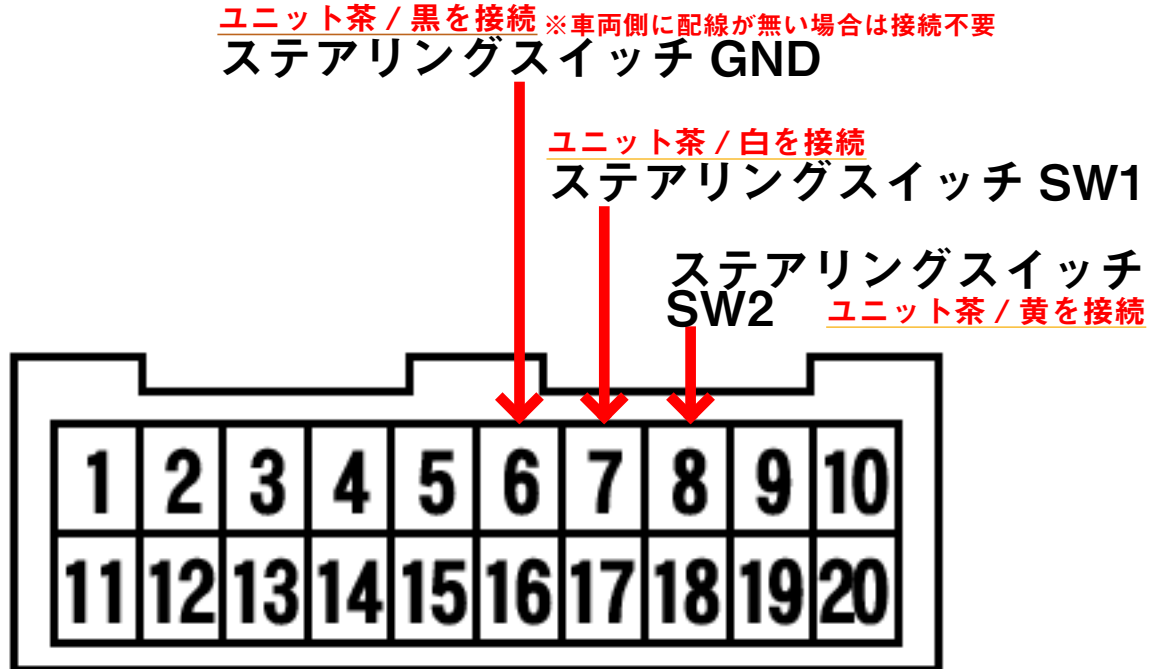
※初期設定は「マツダ車」と「パイオニア製品」の組み合わせになっています。

※添付の白色ワンタッチコネクタは信号線用です。添付のコネクタ以外を使用される場合は、接触不良の原因となりますので、適合線径をよく確認してください。

トヨタ / ダイハツ 20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極と6極の場合（殆どのトヨタ車）では下記のように20極コネクタへ接続します。

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

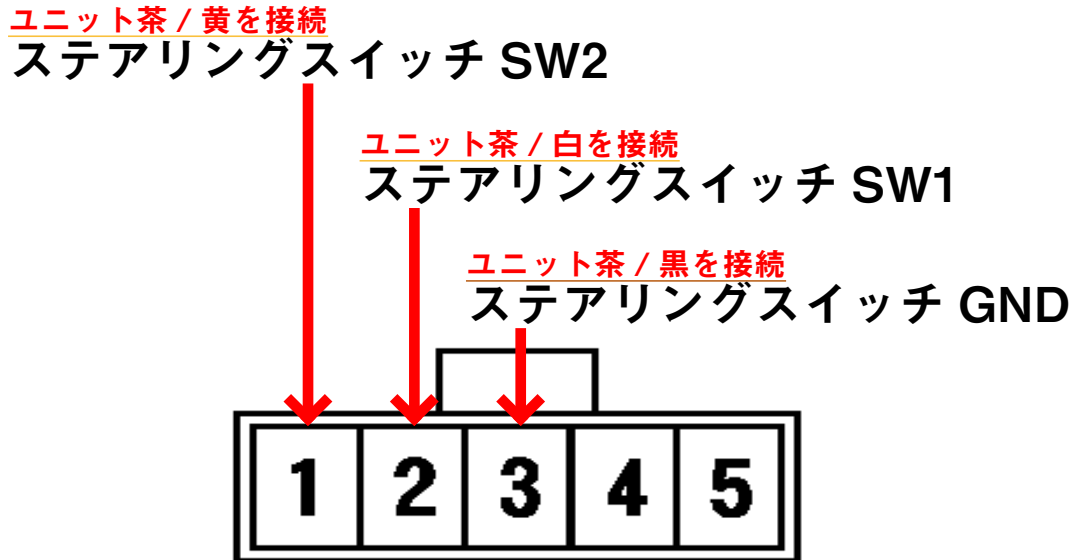
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	7 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	8 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	6 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ / ダイハツ5極コネクタピン配置図

■現行 LA150・LA160 系ムーヴ・ムーヴカスタム等のステアリングリモコンコネクタが5極の場合では下記の様に接続します。

※コネクタを配線が出ている側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

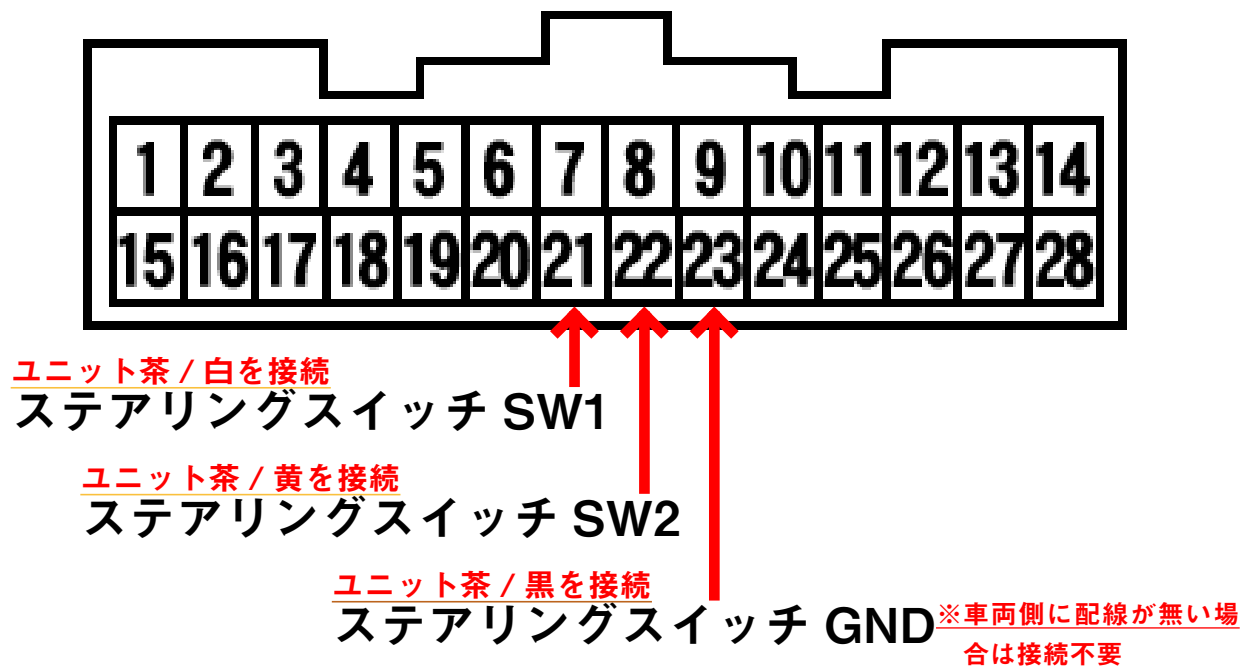
MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	2 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	1 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	3 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ28極コネクタピン配置図

- 28極コネクタ採用車（AQUA等）では下記のように接続します
- ※ オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



- ※ ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。
- ※ アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	21 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	22 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ 26 極コネクタピン配置図

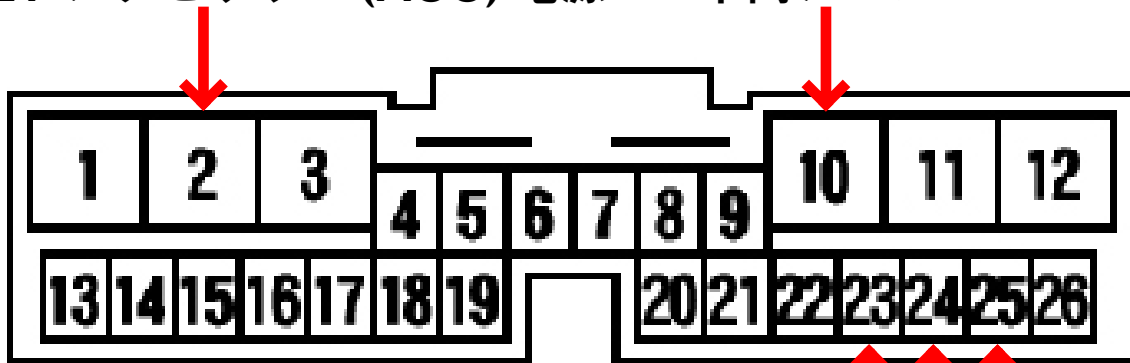
■ 26 極コネクタ採用車（SAI など）では、下記の様に接続します
 ※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です

ユニット赤を接続

+12V アクセサリ（ACC）電源

ユニット黒を接続

車両アース



ユニット茶 / 黒を接続

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ SW2

ユニット茶 / 白を接続

ステアリングスイッチ SW1

※ ACC 電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続するか、26 極コネクタの 2 番へ接続してください。

※ アース線（黒）はカーナビ／カーオーディオの金属部ねじに共締めしてもかまいません。

※ アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	2 番 +12V アクセサリ（ACC）電源
黒	⇒	10 番 車両アース
茶 / 白	⇒	25 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	24 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ補助アンプ搭載車での配線変更方法

b Bのウーハー搭載モデルや、ノア／ヴォクシーの9スピーカーモデル等、外部アンプを搭載しているモデルでは、社外ナビ／オーディオに交換するとウーハーやドアスピーカーが鳴らなくなる場合があります。

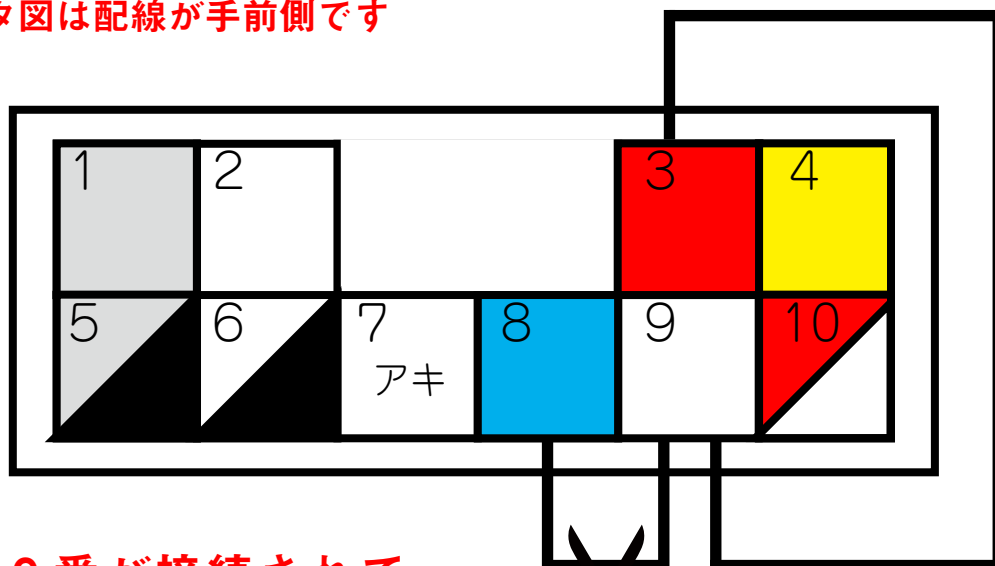
これは、社外ナビ／オーディオハーネスでアンプの電源（10極コネクタ9番）が正しく接続されていないためです。下記のように加工を行い、9番端子をACC電源に接続するとアンプ電源がONになり、問題が解消します。

■加工方法

1. 社外ナビ／オーディオ変換ハーネス（10P、6P変換ハーネス）の10極側を確認し、配線の色が下記コネクタ図の通りであることを確認します。
2. **8番と9番がループ線で接続されている場合は、切断します（重要）。**
3. 8番にカーナビ／オーディオのアンテナリモートへ接続されているかを確認します。違っていれば修正します。
4. 9番と3番を短絡し、9番にACC電源が入るように加工します。
9番がアキ端子になっている場合は、車両側を加工してください。

トヨタ車用オーディオハーネス（10極）

※コネクタ図は配線が手前側です



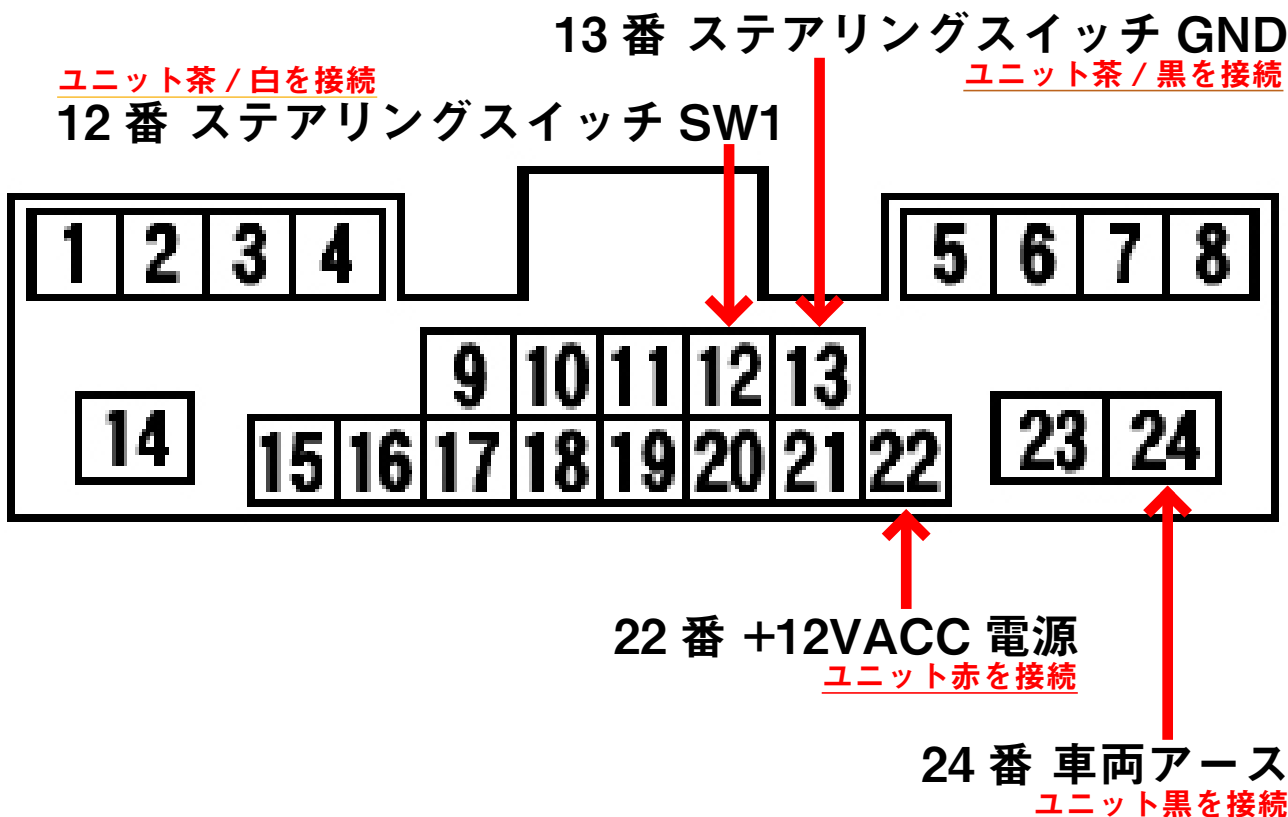
8番と9番が接続されてい
れば必ず切断すること

9番と3番を接続する

マツダ車 24極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが24極のマツダ車では下記の様に接続します。

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続するか、コネクタの22番へ接続してください。

※アース線（黒）はカーナビ／カーオーディオの金属部ねじに共締めしてもかまいません。

※ステアリングスイッチを押さずにキーをACCにしているのに設定モードになってしまう場合は、茶 / 黒と茶 / 白の配線を入れ替えてください。又は次ページを参照してオーディオハーネスを加工します。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	22番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	24番 車両アース
茶 / 白	⇒	12番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	未 接 続
茶 / 黒	⇒	13番 ステアリングスイッチ GND

マツダ車へ接続する場合の一部ハーネスの加工方法

一部メーカー製のオーディオハーネスで、**ハーネス部分にてステアリングスイッチ信号線がアースされている**場合があります。

そのまま接続しても本ユニットを使用することができませんので、下記のように対処してください。

■症状の現れ方

1. ステアリングスイッチを押していなくてもイグニッションキーをACCにすると設定モードになります。赤LEDと緑LEDが交互に点滅したまま終了しません。

■対処方法その1

1. オーディオハーネス部分でステアリングスイッチライン（12番、13番）がハーネス部でアースに落ちていることを確認し、アースへの接続を切断してください。

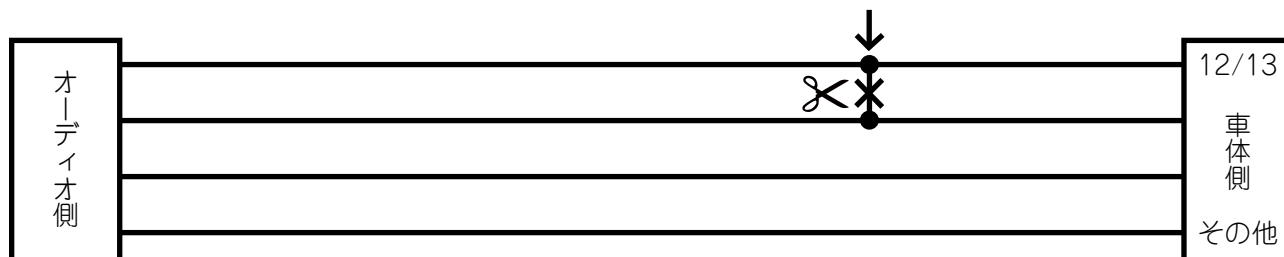
※オーディオハーネス部分でアースに落ちていない場合は、茶/黒と、茶/白の接続先を確認してください。

■対処方法その2

1. ユニットの茶/黒と茶/白の接続を入れ替えてください。

※茶/黒と茶/白の接続先の両方がアースに落ちている場合は、茶/白の接続先をアースされないように切断する必要があります。

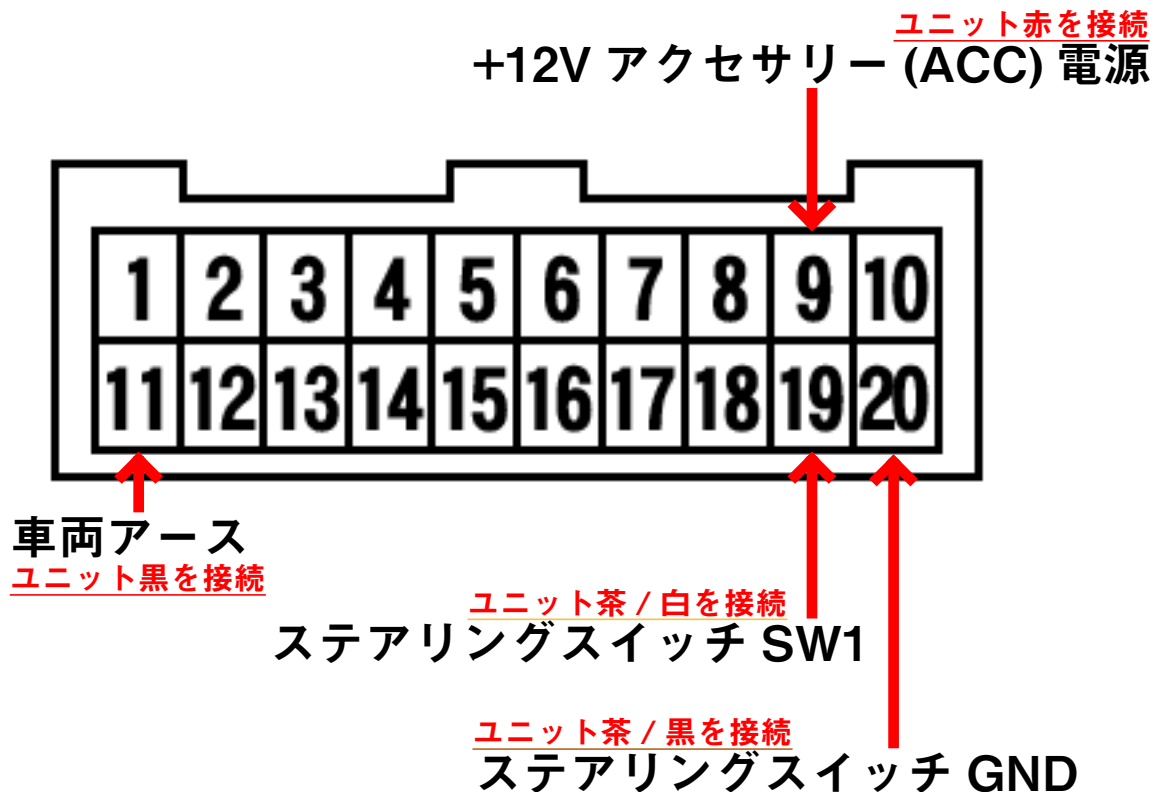
社外ハーネスで12番か13番がアース線に接続されている場合は必ず切断してください



スズキ車20極コネクタピン配置図

※クラリオン製カーナビにカプラを直接差し込む場合は下記を参照

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※本ユニットの茶 / 黄は未使用です。どこにも接続せず、絶縁処理してください。

※クラリオン製のカーナビをお取り付けの場合で、車両の20極カプラを直接カーナビ本体へ差し込む場合は、19番と20番の配線を切断して、カーナビに信号が入らないようにしてください。

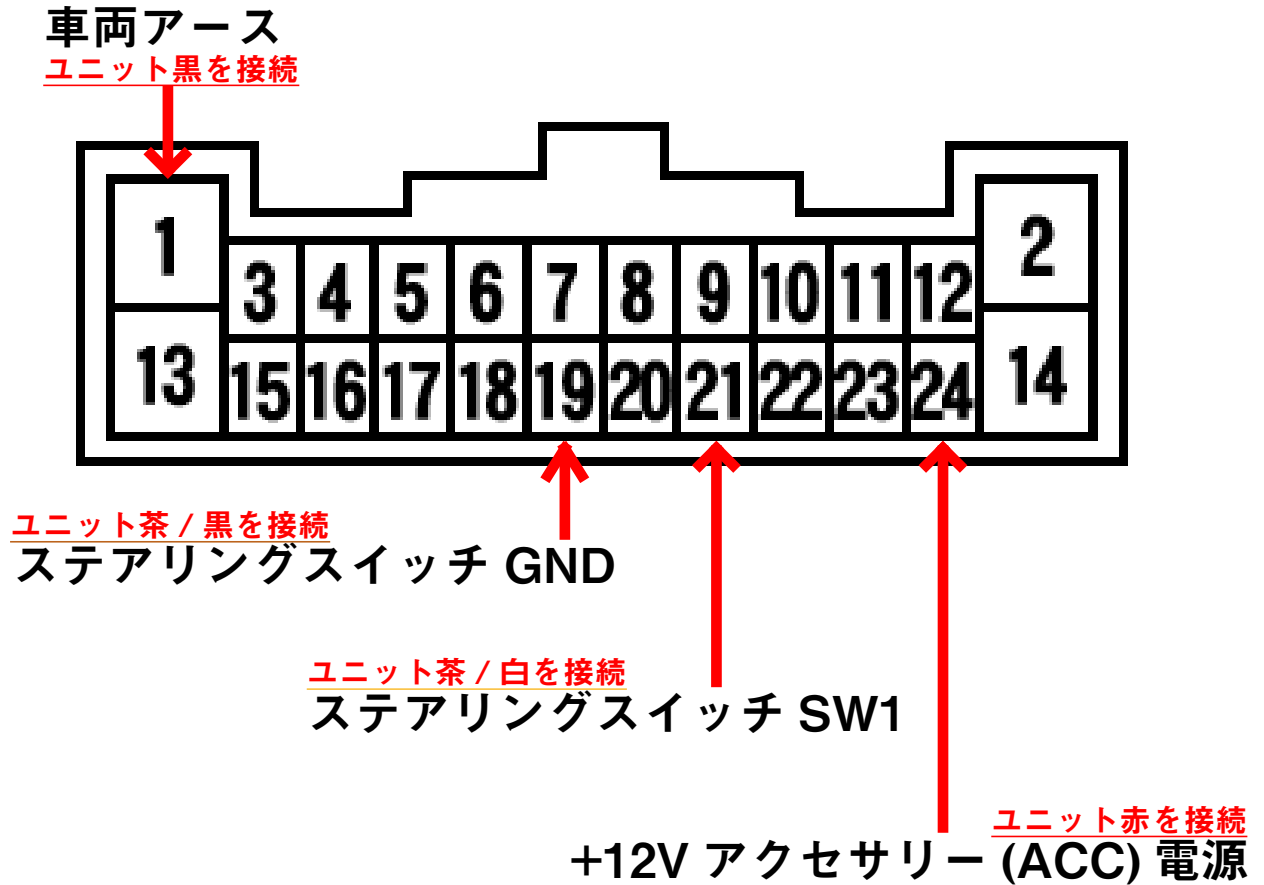
MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	9番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	11番 車両アース
茶 / 白	⇒	19番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	20番 ステアリングスイッチ GND

スズキ車24極コネクタピン配置図

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※本ユニットの茶 / 黄は未使用です。どこにも接続せず、絶縁処理してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	24 番+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	1 番 車両アース
茶 / 白	⇒	21 番ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	19 番ステアリングスイッチ GND

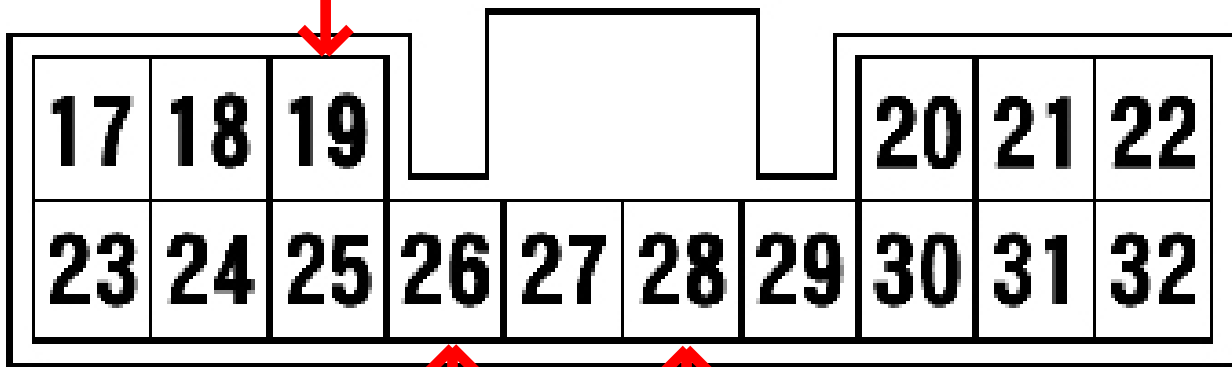
日産 E51 エルグランド (2002.5 ~ 2007.10) コネクタ図

■ 2002.5 ~ 2007.10 のエルグランドについては下記のように 16 極コネクタへステアリングスイッチ信号線を接続してください。

※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です

ステアリングスイッチ SW1(+)

ユニット茶 / 白を接続



ステアリングスイッチ GND(-)

ユニット茶 / 黒を接続

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ SW2(+)

※ ACC 電源線 (赤) はカーナビ / カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※ アース線 (黒) をカーナビ / カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ / カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	19 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	26 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	28 番 ステアリングスイッチ GND

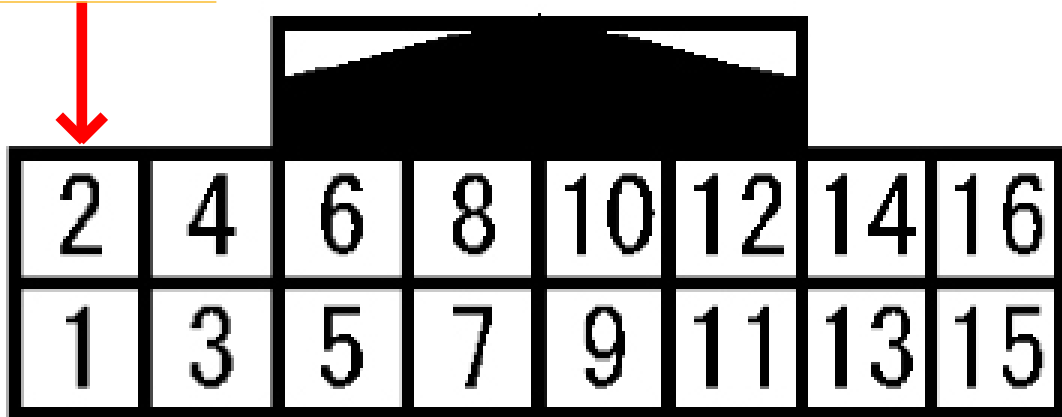
日産 U31 系プレサージュのコネクタ図

■日産 U31 系プレサージュではシフトゲートレバー横のエアコン操作パネル裏にある16極コネクタへステアリングスイッチ信号線を接続してください。下記3本の配線を切断し、ステアリングスイッチ側に接続します。

※コネクタを配線がでている側から見た図です

2番 (緑又は赤) ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続



ユニット茶 / 黒を接続

3番 (黒 / 黄) ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黄を接続

1番 (緑) ステアリングスイッチ SW2

※上記の車両側配線色は変更されている可能性があります。

※上記の接続先はエアコン操作パネルに入る配線を切断して、本ユニットにのみステアリングスイッチ信号線が接続されるようにしてください。

※ACC電源線 (赤) はカーナビ / カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線 (黒) はカーナビ / カーオーディオの金属部分へ接続してください。

MEMO

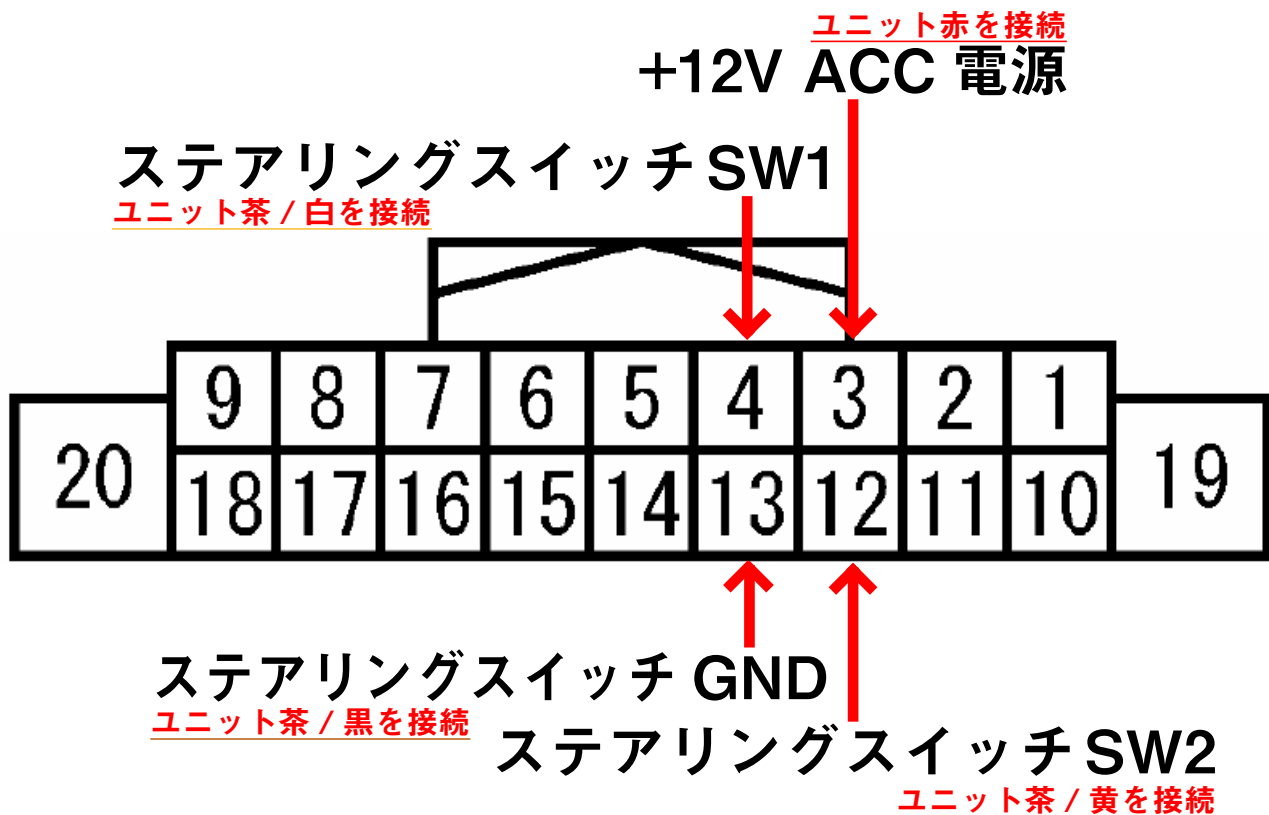
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	2番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	1番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	3番 ステアリングスイッチ GND

日産 20 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが20極の日産車では下記の様に接続します。

※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

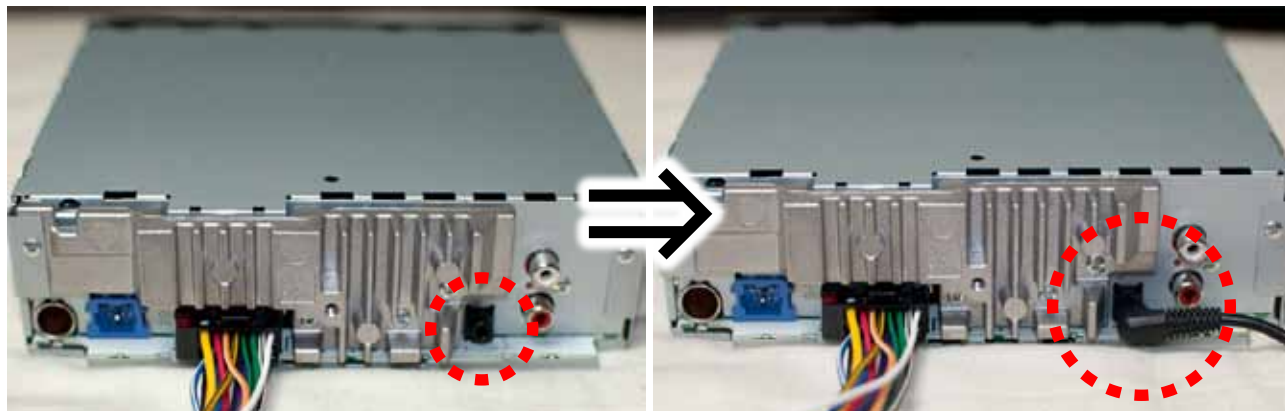
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	3 番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	4 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	12 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	13 番 ステアリングスイッチ GND

カーナビ・カーオーディオへの接続

■ パイオニア・アルパイン・クラリオン社製品の場合

⇒コントロール入力へ本製品のプラグを差し込みます。

※本製品の水色線は未接続とします。どこにも接続しないでください。



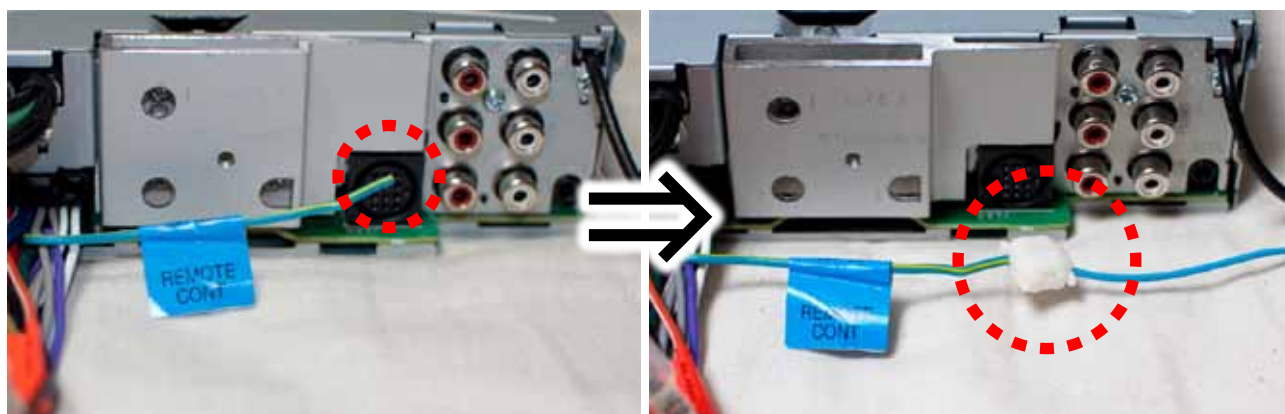
■ ケンウッド社製品の場合

⇒ステアリングリモート入力線（水 / 黄）へ、本製品の水色線を接続します。

※リモート入力線（水 / 黄）が無い場合は接続できません。

！注意！故障の原因となりますので、リモート入力線以外の配線（アンテナリモート・アンプリモートなど）に接続しないでください。

※本製品のプラグは未接続とします。どこにも接続しないでください。



MEMO

※ステアリングスイッチ入力端子の無いカーナビ・カーオーディオは対応不可となります。赤外線リモコン対応製品については、弊社の赤外線式ステアリングリモコンアダプタをご使用ください。

！注意！

故障の原因となりますので、ステアリングスイッチ入力以外の端子や配線に本製品を接続しないでください！

カーナビ／カーオーディオメーカーの設定を行う

※パイオニアナビの場合、ナビのステアリングリモコン設定を「アダプター」に変更してから下記の設定操作を行ってください

1

カーナビ・カーオーディオをラジオモードにして、音量をある程度上げておきます。その後、イグニッションキーをOFFにします。
※パイオニアナビの場合はステリモ設定を「アダプター」に変更します。



※ナビが操作不能になっている場合は、そのまま2へ進みます

2

ステアリングスイッチの「ボリュームダウン」ボタンを押しながらキーをACCに廻します（プッシュスタート車の場合は、ブレーキを踏まずにスタートスイッチを押します）。



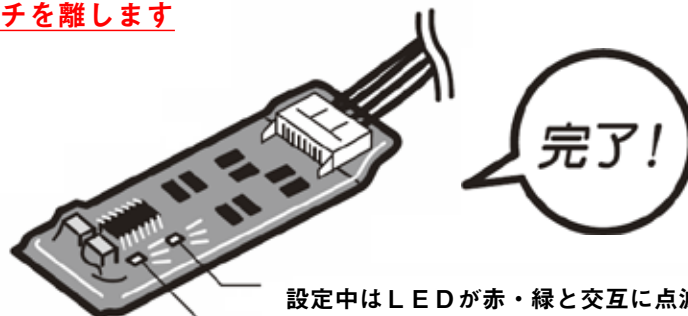
3

そのままステアリングスイッチを押したままにしてください。カーナビ・カーオーディオの音量が下がり始めたら、ステアリングスイッチから指を離します。

※1分待っても反応がない場合はやり直してください

※音量が下がり始めたらすぐにスイッチを離してください

※ナビの画面が出る前に音量が下がり始めても、すぐにスイッチを離します



設定中はLEDが赤・緑と交互に点滅します

出力を「パイオニア」に設定する手順

※パイオニアオーディオのステアリングリモコン設定を続行できない場合は、先に下記の操作を行った後にオーディオ側の設定を行ってください。

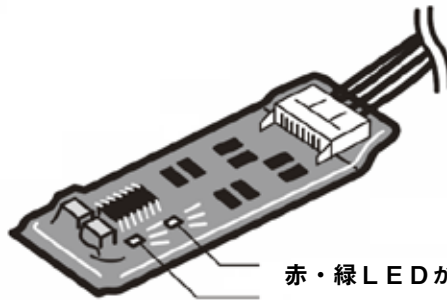
1

ステアリングスイッチの「ボリュームダウン」ボタンを押しながらキーをACCに廻します（プッシュスタート車の場合は、ブレーキを踏まずにスタートスイッチを押します）。



2

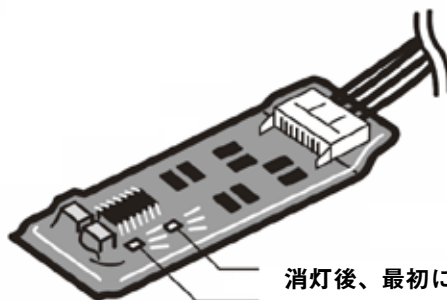
そのままステアリングスイッチを押したままにしてください。赤LEDと緑LEDが何回か点滅した後、一旦両方とも消灯します。



赤・緑LEDが何回か点滅してから消灯

3

赤LEDと緑LEDの両方が消灯したあと、最初に「赤LED」が点灯したらステアリングスイッチから指を離します。



消灯後、最初に「赤LED」が点灯したら話す

本体LEDの点滅について

■本体のLEDの点滅・点灯は本体の状態、設定状態を示しています。

◇赤色LED

- 高速点滅 ⇒ イニシャライズ中
- 点灯 ⇒ 通常動作中

◇緑色LED（イニシャライズ中）

イニシャライズ中に点滅します。点滅回数は車両メーカーの設定状態を示しています。

- 1回 ⇒ トヨタ車
- 2回 ⇒ マツダ車
- 3回 ⇒ スズキ車
- 4回 ⇒ リザーブ
- 5回 ⇒ 日産車（E51系6ボタンスイッチ）
- 6回 ⇒ 日産車（C25系8ボタンスイッチ）

◇緑色LED（通常動作中）

- 消灯 ⇒ ステアリングスイッチが押されていない
- 点灯 ⇒ ステアリングスイッチが押された

■設定モードになった場合

設定モードに移行した場合は、次のように変化します。

本体の状態	赤色LED	緑色LED
イニシャライズ中	高速点滅	既設定の車両メーカーを示し点滅
車両メーカー判定	消灯	新設定された車両メーカーを示し点滅
操作対象機器設定中	赤色LED、緑色LEDが交互に点滅します	

MEMO

※新品購入時、初期設定はマツダ車とパイオニア（カロッツェリア）カーナビ・カーオーディオの組み合わせなっています。

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤・緑色LEDが点滅・点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部で接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■ステアリングスイッチが作動しない

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、下記項目を確認してください。

1. ステアリングスイッチを押すと緑色LEDが点灯する場合は、プラグが確実にさしこまれてか（ケンウッド製品は、水色線の接続）を確認します。
※ステアリングスイッチの一部ボタンが使えない事がありますが、正常です。
2. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合は、再度初期設定を行ってください。改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄※未使用の場合あり）の接続を確認してください。
3. ステアリングスイッチを押していなくても緑色LEDが点灯している場合は、初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■カーナビが勝手に作動する

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■本ユニットを接続すると、カーナビが操作できなくなる

初期設定を行ってください。マツダ・スズキ車では初期設定前にカーナビ・カーオーディオが操作できない場合があります。初期設定前に「ラジオモードにして音量を上げておく」操作ができない場合は、そのまま設定を続行します。※最初の初期設定時に車両判定が行われ、正常動作となります。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAP-MULT05	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 543-0021 大阪市天王寺区東高津町 3-20 エフズビル 702 電話 06-6131-6300